

## 外国人留学生修士・博士論文チューター制度について

外国人留学生修士・博士論文チューター制度は、日本語で修士・博士論文を執筆する外国人留学生の日本語チェックや論文の形式等の指導や助言を行うことを目的に設けられたものです。学務部教務課教務第三係のオリエンテーションを受け、活動を認められたチューター（以下、「チューター」という）が、個別に課外指導を行います。

指導は、メールや電話等ではなく、チューターと留学生が直接対面して行ってください。

### 1. チューターの資格

チューターとして活動するためには、次の条件を満たす必要があります。

- (1) 本学に**在籍**する者（研究生、聴講生等非正規生は除く）  
**ただし、休学者は休学理由によっては認められない場合があります。**
- (2) 日本国籍または「永住者」の在留資格を有する者、あるいは大学が許可した者
- (3) 教務第三係でのオリエンテーションを受け、活動を認められた者

#### 【注意】

- ・チューターとして活動するためには、教務第三係でのオリエンテーションを受ける必要があります、それ以前に行った活動については、チューター指導として認められません。

### 2. チューター制度を利用できる留学生

- (1) 修士課程2年生（以上）に在学する者で、修士論文を作成する者
- (2) 博士課程3年生（以上）に在学する者で、博士論文を作成する者

#### 【注意】

- ・在留資格が「留学」ではない外国人学生は、本制度を利用することはできません。
- ・1人の留学生に同時に複数のチューターをつけることはできません。
- ・休学中の学生は、本制度の利用はできません。

### 3. 対象となる指導内容

修士・博士論文の添削及び論文形式の指導

※論文の内容についての指導は出来ませんので、注意してください。

※経営管理研究科 HMBA コースおよび国際・公共政策教育部のワークショップレポートも対象となります。

※日本語での論文をサポートするための制度です。それ以外の言語での論文執筆には利用できません。

#### 4. チューター謝金

- (1) チューターには、指導のお礼として大学が「謝金（1時間＝1,200円）」を支払います。
- (2) チューター活動開始前に、**学生証、金融機関通帳のコピー**を添えて、承諾書を教務第三係に提出し、指導報告書の記入方法等の説明を受けてください。
- (3) 指導報告書の作成
  - ① チューターは、活動日毎に指導内容と時間を記入し、指導を受けた留学生に承認の印鑑またはサインをもらってください。
  - ② 指導報告書は、活動月の翌月5日までに教務第三係へ提出してください。（5日が土日祝日にあたる場合はその次の平日まで）  
**提出が遅れると謝金の支払いが遅れたり、支払いが出来ない場合があります。**  
**また、年度末など臨時に提出期限を変更する場合がありますのでご協力をお願いします。**

#### 5. 指導時間枠（謝金の支払対象となる時間数）

下記に定める指導時間を超えての活動は、本制度として認められません。

- (1) 1か月の指導時間の上限は、**30時間**です。  
※複数の留学生を担当していても、チューター1人あたりの指導時間の上限は、1か月30時間です。  
※他のチューター（初年度チューター、日本語添削チューター等）として活動している場合も、合わせて月30時間が活動時間の上限です。
- (2) 留学生1人が受けることが出来る指導時間の合計は、**32時間**です。
- (3) 指導できる期間は、論文提出期限の3か月前から論文提出期限日までです。
- (4) 論文提出が延期された場合には、既に指導済みの時間を**32時間**から差し引いた残りの時間分のみ、指導時間とすることができます。（新しい論文提出期限の3か月前に再度承諾書を提出し、チューター活動を行ってください。）

#### 6. 注意事項

- (1) チューターの都合等により、チューター活動を中止する場合は、必ず教務第三係に申し出てください。
- (2) 大学からの連絡は基本的に一橋大学 Gmail(学籍番号@g.hit-u.ac.jp)に送信します。

チューター制度のルール・規則を守らない場合、もしくは留学生・海外留学相談室や教務課教務第三係の指示に従わない場合、チューターには謝金を支払うことはできません。また、留学生はチューター制度を利用する権利を失うことになります。

※教務課教務第三係は東一号館1階にあります。